

ばっけ



第111号

発行 令和6年10月

放送大学秋田学習センター

TEL 018-831-1997



時の始まりを掘り起こす

放送大学秋田学習センター 客員教授 田子 真



すでに30年以上前の出版になるが、ピーター・W・アトキンスの著書『エントロピーと秩序』（米沢富美子/森弘之訳）に、燃料の変遷について興味深い指摘があり、目から鱗が落ちる思いであった。以下のような内容である。

燃料の変遷過程は、あたかも昔の収穫物の貯蔵庫を掘り起こす作業のようである。遠い過去を掘り起こしていく。過去にさかのぼるほど、より便利で、より集約された形のエネルギー（燃料）に出会う。つまり燃料の原形が洗練されていく。水素の核融合が実現できれば、時の始まりを掘り起こすことになる！

説明しよう。図1は燃料の変遷を示したものであり、各種燃料とそれが生成された時間軸を対応させている。最も原始的な燃料は「木材」である。成長するまでに要する期間は数十年程度であり、地球の歴史からすれば「現在」生まれた燃料と言える。「木材」より洗練された燃料は「石炭」である。「石炭」が形成されるには、「木材」よりも長い年月が必要になる。さらに洗練された燃料は「石油」であろう。「石油」は海の生物が朽ちた残り物であり、「石油」が生成されるまでにはより長い歳月を必要とする。「石油」より洗練された燃料は「原子力（ウラン）」であろうか。かつて星であったものの灰であり、地球が形成された時点で生まれた物質といえる。このような化石燃料のなかで最も古いものが「水素」であり、ビッグバン（宇宙の最初の瞬間）の灰である。「核融合」は水素からヘリウムをつくる際に出るエネルギーを取り出して利用するものであり、まさに、水素の「核融合」が実現できれば、時の始まりを掘り起こすことになる。

先日、秋田魁新報（2024年7月14日付け）に「核融合発電」の実現に向けて産官学の連携を強化する旨の記事が掲載されていた。水素（重水素と三重水素）の核融合による発電技術が実用化されるまでにはまだまだ多くの時間を要するであろう。一方、水素は燃焼させても二酸化炭素を排出しないことから、地球温暖化への対策として、燃料としての水素の利用が世間の注目を集めているようである。今後、水素社会が実現することになれば、アトキンスが述べるように、人類は時の始まりにまで手をつけることになる。しかし、我々が手にする水素は一次エネルギー（エネルギー源）ではなく、電力と同じ二次エネルギーである。このことを踏まえると、たとえエネルギーキャリア（貯蔵・運搬手段）として水素の活用が期待できるとしても、エネルギー政策としての水素社会が人類に幸福をもたらすのか否か、私が生きているうちに確認することはできるのであるだろうか……。

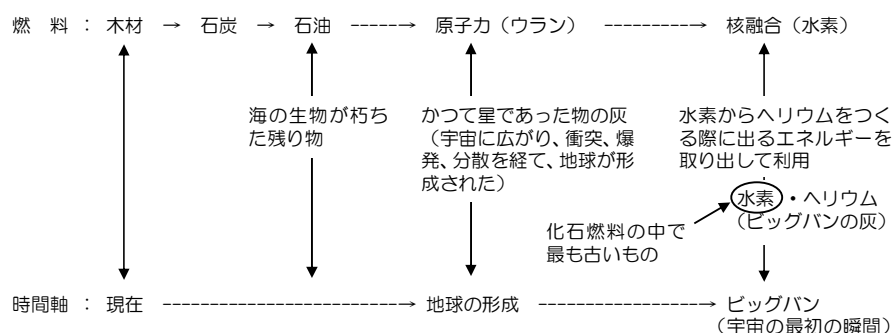


図1 燃料の変遷

2024年度第1学期 ご卒業おめでとうございます！



秋田学習センターでは、2024年度第1学期をもって、教養学部生17名が卒業されました。
教職員一同心からお祝い申し上げます。

10月6日（日）に秋田学習センターにおいて、学位記授与式が挙行されました。卒業生6名が出席し、式は滞りなく終了しました。



学位記授与式の様子（学歌演奏）



学位記授与式 記念撮影



2024年度第1学期 卒業生の皆様からメッセージをいただきました♪



高橋 悦子 さん
－人間と文化コース－

このたび学位記授与式開催の案内をいただきまして、嬉しさでいっぱいです。

ご指導いただいた先生方、秋田学習センターの皆様ありがとうございます。

試験が終わり、構内を歩いた帰り道の気持ち良さが思い出されます。

渡部 佳織 さん
－生活と福祉コース－

子育てと仕事、勉強。隙間時間を見つけて楽しくコツコツ勉強できたのは放送大学だったからだと思います。これから学位（看護学）取得を目指して頑張ります。ありがとうございました。

西村 陽子 さん
－生活と福祉コース－

今回の卒業で2回目です。最初のコースは「人間と文化」で好きな科目が多く、より人生が本当に充実しました。2回目は「生活と福祉」でした。高齢な私に自分の体をよく知ること、高齢者を守る社会のシステムも教えてくれました。卒業を区切りとしますが、知る、学ぶことを続けて、より満足した人生を、と思っています。

Y. S さん
－生活と福祉コース－

おかげさまで卒業できることになりました。

皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

I. T さん
－心理と教育コース－

入学前、私は心理学を学びたいと考えていました。ふとした時、放送大学のパンフレットを目にしました。しかし、心理学とはいったい何なの？ というところからのスタートでした。それが学び始めると、吸い込まれていく様に私の心が動き始めました。あのパンフレットとの出会いは、偶然ではなく必然だったんだと思います。沢山の先生達に教わったことは私の人生においてとても大きく、心から感謝しています。更に学んだことを活かせる様、努力していきたいです。



倉林所長式辞



卒業生代表謝辞

2024年度第1学期 学位記授与式 卒業生代表謝辞

『放送大学卒業にあたって』

本日は私たち卒業生のために学位記授与式を開催して頂きありがとうございます。

また、ご多忙中にもかかわらず、ご臨席頂きました西田前所長並びに倉林所長及び教職員の皆様に感謝申し上げます。

私が放送大学に入学したのは退職後で60代後半でした。同時に母の自宅介護が始まり、なかなか大変でしたが、勉強することで、精神的にも気持ちを切り替えて、母にやさしく接することができました。最初に入学した「人間と文化コース」は私が学びたい分野で芸術論、洋の東西を問わず文学に関連する科目が多数あり楽しく充実した時を過ごしました。教科書の何冊かは愛読書になっております。無事卒業でき、NHKホールでの学位記授与式に出席しました。全国から卒業生・修了生が集まり多くの仲間の存在を改めて実感しました。

表彰された優秀な学生の中に目の不自由な方がおり、奥様に付き添われて表彰を受けました。その後、謝辞を述べとても苦労した勉強、その為に考えた勉強方法、奥様のサポートへの感謝を述べました。すぐに万雷の拍手が沸き起こり、退場しても鳴りやまず再登場されました。その方への称賛と共に各々自分の頑張りが重なって、感動で会場が一体となりました。

2回目に再入学した「生活と福祉コース」では、母の介護で高齢者への福祉を知り、社会福祉の現状と制度、問題点を考え、これからの生き方に密接に繋がる大事なことを学びました。

私はボランティアで食生活改善の会に参加しています。今まで学んだことを活かして、秋田県の死因の多くを占める生活習慣病を予防するため地域で活動していこうと思っています。そして、これからも創造性や教養を高め人生を豊かにする学びを求め続けたいと思います。

本日卒業を迎えることが出来たのは放送大学、西田前所長並びに倉林所長及び秋田学習センターの教職員の皆様のご支援とご指導と家族の協力の賜物と感謝申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

令和6年10月6日 卒業生代表 西村 陽子



所長表彰受賞 おめでとうございます！



平成26年度に制定した「放送大学秋田学習センター所長表彰取扱要項」に基づき、所長表彰表彰式を10月6日（日）の学位記授与式終了後に開催しました。
受賞された皆様、誠におめでとうございます。



所長表彰記念撮影

満80歳以上で学部を卒業された方

高橋悦子さん

エキスパートの認証を取得された方

小林牧子さん	日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド（基礎力）養成
川和田亮さん	福祉コーディネータ
武田宏巳さん	臨床心理学基礎
伊藤環さん	臨床心理学基礎
一箭健治さん	データサイエンス・リテラシー、データサイエンス応用基礎
南部直気さん	データサイエンス・リテラシー
毛利春治さん	データサイエンス・リテラシー
大西智恵さん	福祉コーディネータ

※ご本人から同意いただいた方の氏名を掲載させていただいております。



エキスパートを活用して学ぼう！

科目群履修認証制度

放送大学 **エキスパート**

「興味ある分野を、集中して学びたい」
そのようなニーズにお応えする
放送大学の学習（履修証明）プログラムです。

エキスパートの活用方法は

卒業を目指す 全科履修生の方

- ・学習計画を立てる際の履修モデルとして
- ・卒業への道のりのステップとして
- ・学士とは別に特定の専門分野の修得を証明するものとして

1科目から学ぶ 選科履修生・科目履修生の方

- ・認証状取得そのものを目標として
- ・ある専門分野を体系的に学ぶ際の道しるべとして

エキスパートで認証状を取得するまで

全科履修生・選科履修生、
または科目履修生として
入学

入 学

認証状取得を目指すプランの
認証取得条件を満たす

認証取得
条件充足

認証取得条件を満たしたら、
認証状を申請

認証状申請



2024年度第2学期 ご入学おめでとうございます！



2024年度第2学期入学者117名の皆様、ご入学おめでとうございます。
10月6日(日)、秋田学習センターにて「2024年度第2学期入学者の集い」が開催され、13名の
新入生が参加しました。新たな学習への思いを胸に新学期が始まりました。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【教養学部】

全科履修生	25
選科履修生	8
科目履修生	32
特別聴講生	44
合 計	109

【大学院】

修士全科生	0
修士選科生	5
修士科目生	3
特別聴講生	0
合 計	8

秋田学習センター入学者数
令和6年10月10日現在



入学者の集いの様子（学長メッセージ）



今学期入学された方の中からお二人にご寄稿いただきました。

『放送大学への入学にあたって』 【全科履修生】関 祐佳子 さん

この10月から心理と教育コースに入学いたしました。私の決意表明も兼ねて理由を少しお話させていただきます。まず、私が目指す最終的な目標は公認心理師の資格を取得することです。なぜ目指すのか。2つ理由があります。1つめは小学校2年生と中学校1年生で不登校になったことです。当時、両親や祖父母は今と違い『不登校＝わがまま』という認識であったと思います。祖父母の家に預けられると「なぜ行かないのか」と責められました。この経験から、学校に行けない子の味方になりたいと思うようになりました。2つめは昨年、父が亡くなったことです。父の葬儀を終えたとき、「お父さんってやりたいことやりきれたのかな...」と漠然と考え、「私がやりたかったことってなんだっけ?」と自分を見つめ直すきっかけが急に訪れました。そこで思い出されたのが、学校に行けない子たちの味方に!という思いでした。そのための知識をしっかりと身につけて資格を取得しよう!と放送大学の門を叩かせていただいた次第です。

十数年前の大学生活とは違い、家事と育児に翻弄されながらの学びにはなりますが初心を忘れず真摯に取り組んでいきたいと考えております。

『新たな道のために』 【科目履修生】M.S さん

秋田大学で学生をしています。放送大学へは、学芸員資格のために必要な単位を受講することができるという話を聞いて入学しました。

現在所属している秋田大学で、教員となるための勉強をしていた中、ふとしたことから博物館職員としての仕事に興味をもつようになりました。

しかし、秋田大学では博物館職員になるために必要となる学芸員資格に関わる単位が存在せず、私が既に大学4年生となっていたこともあり、新しく見つけた道を諦めかけていました。

そんな折に放送大学を見つけました。

放送大学を利用することで、今の大学に所属しながら、追加して学芸員資格に関わる単位を取得できる機会を得ることができると聞き、すぐに入学を決めました。

入学して得たこの機会を無為にしないためにも、今の生活スタイルに学びの時間を少しずつプラスして、大学卒業間際に見つけた新たな道を目指して、こつこつと学んでゆきたいと思っています。



秋田をまなぶ 講座シリーズ 2024

秋田県内の図書館等と共催で開催している「秋田をまなぶ講座シリーズ」は16年目を迎え、すでに3巡目に入った地域もあります。それぞれの図書館等の要望に基づいた講演を基本としており、開催地域の歴史や自然、文化などを様々な視点から学ぶことができる講座となっております。

第1回

「日本海海運と能代湊の発展」

会場：能代市立能代図書館（能代市）
講師：渡辺 英夫 氏（秋田大学名誉教授）
共催：能代市立図書館

第1回「秋田をまなぶ講座シリーズ2024」講演会は、令和6年7月6日(土)に能代市立能代図書館において開催されました。能代図書館での講演会は、2年振りの開催となります。

能代湊のある能代市はもちろん、県内各地から多数の申し込みもあり、当日は当初の定員を上回るご参加をいただきました。誠にありがとうございました。



第2回

「『おくのほそ道』最北の地・象潟 -ことは芭蕉生誕380年-

会場：金浦公民館（にかほ市）
講師：齋藤 一樹 氏
（にかほ市教育委員会文化財保護課専門員）
共催：にかほ市立図書館

第2回「秋田をまなぶ講座シリーズ2024」講演会は、令和6年9月7日(土)に金浦公民館において開催されました。金浦公民館での講演会は、8年振り2回目の開催となります。

当日は、山形県からの参加者もあり、松尾芭蕉の人気の高さをうかがい知ることができました。また、文学作品の視点から見た、芭蕉と秋田（象潟）の繋がりを再発見できたことと思います。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



第3回

「秋田市周辺に残る田村麻呂伝説」

会場：きららとしょかん新屋図書館（秋田市）
講師：志立 正知 氏（秋田大学名誉教授）
共催：秋田市立新屋図書館

第3回「秋田をまなぶ講座シリーズ2024」講演会は、令和6年10月19日(土)にきららとしょかん新屋図書館において、好評のうち無事終了いたしました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

来年度も県内各地で「秋田をまなぶ講座シリーズ」開催を予定しておりますので、開催の際にはぜひご参加ください。





2024年度学生研修旅行を実施しました

9月14日(土) 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する「大湯環状列石(鹿角市)」と「伊勢堂岱遺跡(北秋田市)」の縄文遺跡巡り

当日は教職員を含め8名が参加し、天候にも恵まれて、行程どおり無事終了しました。ご参加した皆さん、ありがとうございました。

参加者から感想をお寄せいただきました。

研修旅行に参加して

【全科履修生】H.Tさん

9月14日(土)曇天の中、能代観光青バスに同乗、秋大正門を定刻より10分早く出発しました。

中井事務長さんのソフトなご案内により、道の駅「かみこあに」休憩後、「大湯ストーンサークル」の見学で午前の部を終了。お昼は、道の駅「かづの あんとらあ」で食べました。

午後、北秋田空港を目指し、高速道を利用、空港前広場で時間調整し、伊勢堂岱遺跡を見学しました。

16時前には見学日程を終了し、一路秋田市へ帰りました。

17時すぎ、無事秋大正門に帰着し、散会となりました。

御案内・同行頂いた、倉林所長さん、中井事務長さん、田子先生に、そして、横浜から移住され、県内道路をたくみに乗り継いでくれた運転手さんにも感謝いたします。

◎(大湯ストーンサークル)

相当以前に、リンゴ畑にいくつかの石が直立してたと記憶してましたが、エリアの整備が行き届いていて、世界遺産にふさわしい遺跡となっていました。案内の斉藤さんによると、4000年前、縄文後期で、夕陽のストーンヘッジ、朝陽の大湯と比べられるとのことでした。栗の大木があり、すがすがしい風の中、サークルをゆっくりと歩き、気分の良い見学でした。大湯ストーンサークル館の展示や映像もみごとで、見送り頂いて、また来ますと返答しておりました。



◎(伊勢堂岱遺跡)

午前中、伊勢堂岱祭りがあり、2000人もの人が集まったとのこと、イベント終了後の訪問となりました。

中島館長さんのご案内で、強調されてたのは、遺跡が4つもあること、そして発見されたそのままの状態で維持しており、後世に引き継いでいくとのことでした。

大小の石が32種類も使われみごとに配石されており、また、数千点にのぼる埴輪、土偶のかけらから、選別された展示物にも圧倒されました。(笑う岩偶は他県へ出張展示されたよし、残念でした。)周囲は公共公事を中断したことから、道路の橋脚がどっかりと残っており、遺跡の保存と地域開発の結果も見られるところでした。

◎(おいしいもの)

今回の注目は、かみこあにの「こはぜのコンフィュー」「山吹まんじゅう」「馬肉の味噌煮込み」、かづのの「北限の桃」と「りんご津軽」。いずれも、おすすめの特産品です。そして、昼に頂いた「桃の地ビール」と「鹿角牛カレー」も看板メニューでした。

◎(まとめ)

大湯ストーンサークル館の映像、人物はアイヌ系の掘りの深い縄文人で、「遺跡は過去から未来への道しるべであり、争いのない、平和な世界を祈っている」とまとめておりました。

今日の世界へ、縄文人もうれえているだろうと、つながりました。

今回の旅行堪能させて頂きました。そして、秋田学習センター関係各位にお礼申し上げます。お世話になりました。

2024年度第2学期 面接授業追加登録について

空席がある科目については、追加で募集を行っています。秋田学習センター開設科目の追加登録方法は、以下の通りです。

学習センターの窓口で申請

科目追加登録申請書・学生証・授業料（1科目6,000円×申請科目数）をご持参ください。
※授業料は、おつりのないようにご準備願います。

郵送による申請

科目追加登録申請書・学生証のコピー・授業料（1科目6,000円×申請科目数）・返信用封筒（110円切手添付・宛名明記）を同封のうえ、現金書留にて郵送してください。

■ただし、授業実施日2日前の17:00までの受付となります。また、受付期間内でも定員になり次第締切となります。

■申請書は学習センターにあります。ウェブサイトからもダウンロードできます。

■なお、追加登録の受付方法は各学習センターで異なりますので、当該学習センターへお問い合わせください。

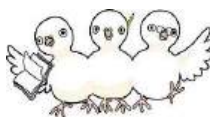
2024年度第2学期 空席のある面接授業科目一覧（11月以降開講科目）

科目区分		科目名	担当講師	授業実施日
心理と教育	専門	子どもと臨床心理学	北島 正人	11月 9日(土)・10日(日)
人間と文化	導入	文学から読み解く台湾の近現代	羽田 朝子	11月 9日(土)・10日(日)
生活と福祉	専門	介護予防領域における概要と実践	小玉 鮎人	11月16日(土)・17日(日)
情報	専門	視覚認知と情報技術	石沢千佳子	11月16日(土)・17日(日)
自然と環境	専門	●秋田県における水災害	渡邊 一也	11月30日(土)・12月1日(日)
基盤		新・初歩からのパソコン	佐々木芳宏	11月30日(土)・12月1日(日)
社会と産業	専門	秋田の鉱山史における阿仁鉱山	今井 忠男	12月 7日(土)・ 8日(日)
人間と文化	導入	近代日本文明と倫理学	服部 圭祐	12月 7日(土)・ 8日(日)
心理と教育	専門	生涯学習の理論と展開	山口 香苗	12月14日(土)・15日(日)
情報	専門	コンピュータの歴史と動作原理	藤原 克哉	12月14日(土)・15日(日)

（10月11日現在）

● BYOD科目となっておりますが、パソコンの持ち込みができない方は学習センターにご相談ください。

2024年度第1学期の面接授業風景





通信指導は原則Web提出となります！

『学生生活の栞』学部pp.63-68 大学院pp.63-68

2024年度第2学期より通信指導の実施方法は、「Web通信指導による提出」を基本とし、問題冊子の送付はありません。郵送提出科目のみ、「郵送提出」により実施します。

なお、履修科目の通信指導問題は、10月上旬に授業共有ファイルにアップロードされます。
(システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)

Web通信指導による提出

2024年11月7日(木)10:00 ~ 11月28日(木)17:00

- ・自宅から、インターネットを通じてWeb通信指導システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。(評価対象となる解答は一回目の提出のみ)
- ・科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。

●択一式問題

選択肢をクリックすることで解答します。

●記述式問題

■オンラインテキスト(直接入力)形式 → 解答記入欄に文字入力することで解答します。

■ファイル添付形式 → 解答を記載したファイルを解答提出欄に添付することで解答します。

郵送による提出(郵送提出科目のみ)

2024年11月14日(木) ~ 11月28日(木) 必着

- ・10月下旬から11月上旬ごろ大学本部から送付(印刷教材とは別に送付)される通信指導問題冊子・マークシート・返送用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
(提出方法の詳細は問題冊子等に同封します)

Web通信指導による提出が困難な方は、10月1日時点で単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、10月下旬から11月上旬に問題冊子を送付します。11月7日(木)までに届かない場合は、総合受付(☎: 043-276-5111)へ必ず連絡してください。

Web通信指導お試し版で操作体験をしましょう！！

重要!
Web通信指導の提出で使用するパソコン等から、提出期間前までに、必ず「Web通信指導お試し版」で操作方法を確認してください。

① Web通信指導

② ③ 登録オプション

④ 通信指導お試し版(操作練習用)

⑤ 私を受講登録する

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験版の操作機会提供について

《Web受験が困難な方へ》

自宅にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、Web受験が困難な方は、申請により学習センターで受験することができます。

※学習センターで受験する場合は「授業科目案内」およびシステムWAKABAに記載されている試験日・時限にかかわらず、個別に学習センター受験日時を調整させていただきますので、ご協力をお願いします。

《秋田学習センターで「Web単位認定試験操作体験会」を開催します！》

日時

①12月20日(金)10:00～12:00 ②12月20日(金)14:00～16:00

③12月21日(土)10:00～12:00 ④12月21日(土)14:00～16:00

※各回とも同じ内容です。空席のある場合は、複数回の参加も可能です。

上記①～④の日時に都合が合わない方はご相談ください。

定員

各回とも5名(定員を超えた回については、個別に日程変更をお願いする場合があります。)

場所

秋田学習センター実習室

予約方法

参加希望日の前日までに秋田学習センター窓口または電話(018-831-1997)で事前予約してください。

パソコン操作が不安な方はこの機会にぜひご参加ください。

特に、「単位認定試験受験場所変更願」を提出し、秋田学習センターでの受験希望の方は必ずご参加ください。

ON AIR web掲載と健康相談・カウンセリングのお知らせ

■機関誌『ばっけ』第109号に掲載しました修士全生 佐藤諒さんの「2023年度第2学期学位記授与式 修了生・卒業生代表謝辞『オンラインと現実世界の両方で得た学び』」が、ONAIRweb【キャンパス×学生】に掲載されました。

■機関誌『ばっけ』第109号に掲載しました学校医 伏見雅人先生の「相談(カウンセリング)を利用するということ」が、ONAIRweb【キャンパス×教員】に掲載されました。

■学校医による「健康相談」・「カウンセリング」について

伏見雅人先生 放送大学秋田学習センター学校医・秋田大学保健管理センター所長・教授

【月1回、水曜日 14:00～15:00】

学校医による相談日は、毎月秋田学習センターウェブサイトに掲載しております。また、秋田学習センターで予定表を配布しております。

ご希望の方は、事務室へお申し込みください。

➡ 放送大学 秋田学習センター ☎018-831-1997 ✉ akita-aktsc@ouj.ac.jp



視聴学習室・図書室からのお知らせ



所長・客員教員によるお薦めの図書資料が届きました。

2024年度、新しく73冊の図書資料を配架しました。

所長・客員教員推薦の図書資料、放送教材と関連する図書資料も加わりました。どうぞご利用ください。



図書室にある図書資料の文献複写について

文献複写を希望する場合は、図書受付で「文献複写申込書」に記入のうえ、お申し込みください。印刷料金は有料となっております。

【著作権法上による文献複写規定】

- ① 図書室内にある図書であること。
- ② 学習上必要なものであること。
- ③ 著作物の一部分であること。
- ④ 一人につき1部であること。

【料金】

モノクロ 1枚 10円
カラー 1枚 50円



秋田学習センター横手校は令和6年9月14日に横手市生涯学習館「Ao-na(あおな)」に移転しました。

移転後の『秋田学習センター横手校』では、これまで実施していたDVD等の放送教材の視聴方式からインターネット視聴用タブレット端末で放送授業インターネット配信を視聴する方式に変わります。利用方法等は、秋田学習センターウェブサイト(「施設利用案内」→「センター外視聴施設室」)をご覧ください。



貸出するタブレット端末の利用は、放送授業インターネット配信の視聴のみです。単位認定試験を受験することはできませんので、ご注意ください。

学生証について

『学生生活の葉』 学部pp.18-20 大学院pp.24-26

学生証は、視聴学習室・図書室の利用、ゼミの参加、面接授業の追加登録、単位認定試験の受験(学習センター受験)、各種証明書の発行申請時に必要です。

学生証の受け取りは、学習センターの事務室窓口または郵送にて行っております。

事務室窓口での受け取り

【10月に新規入学・再入学・継続入学された方】

→入学許可書をご持参ください。

【有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方】

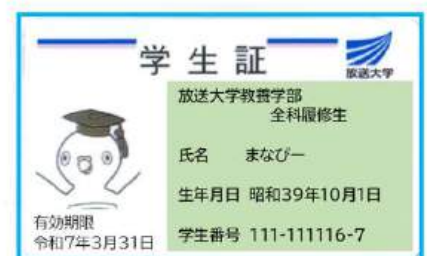
→期限切れの学生証をご持参ください。

郵送による受け取り

【郵送による受け取りを希望される方】

以下の書類を秋田学習センターまで送付してください。

- ① 任意様式の申請書
(学生番号、氏名、住所、生年月日、郵送希望の旨の記載)
- ② 特定記録郵便320円分の切手を貼った宛名明記の返信用封筒(定形封筒)
- ③ 入学許可書のコピー、または顔写真付きの公的な身分証明書
(運転免許証・パスポート等)のコピー
- ④ 在学生の方は、有効期限の切れた学生証



(送付先)
〒010-8502
秋田市手形学園町1-1
秋田大学内
放送大学秋田学習センター



今後のスケジュール



11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 1日 2024年度卒業研究報告書提出期限
7日 通信指導提出開始（Web）
9・10日 面接授業 『子どもと臨床心理学』
『文学から読み解く台湾の近現代』
14日 通信指導提出開始（郵送）
16・17日 面接授業 『介護予防領域における概要と実践』
『視覚認知と情報技術』
26日 2025年度第1学期出願受付開始（～3/11）
28日 通信指導提出期限
（郵送：本部必着、Web～17:00まで）
30日 面接授業 『秋田県における水災害』
『新・初歩からのパソコン』

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 1日 面接授業 『秋田県における水災害』
『新・初歩からのパソコン』
7・8日 面接授業 『秋田の鉱山史における阿仁鉱山』
『近代日本文明と倫理学』
14・15日 面接授業 『生涯学習の理論と展開』
『コンピュータの歴史と動作原理』
18日 大学院修士論文提出期限
20・21日 秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験操作体験会
（第1回～4回）
21・22日 面接授業 『一次救命処置の知識と技術演習』
28日 臨時閉所日
29～31日 年末閉所日

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 1～3日 年始閉所日
4・5日 臨時閉所日
18・19日 臨時閉所日（大学入学共通テストのため）
19～27日 学部・大学院単位認定試験（Web受験方式）
※記述・併用式科目は23日 24:00まで
※択一式科目は27日 17:00まで
19～23日 学部・大学院単位認定試験（郵送受験方式）※23日必着

- …閉所日
□ …通信指導提出期限
■ …単位認定試験日（学部・大学院）
（1/19～1/27）

- 年末年始は、12月28日（土）～1月6日（月）まで閉所させていただきます。
■ 1月18日（土）～19日（日）は秋田大学手形キャンパスが大学入学共通テストの試験会場となりますので、学習センターは臨時閉所させていただきます。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



＜開所時間＞

曜日	利用時間	事務室 窓口受付	視聴学習室・図書室
火曜 ～ 日曜	午前	9:00～12:00	9:30～12:00
	午後	13:00～17:30	13:00～17:30

※12:00～13:00は、昼休みおよび消毒作業時間となります。



※予定は変更する場合がありますので、学習センターウェブサイト等でご確認ください。